

# ハイパーSステージキット(80cc) 取扱説明書

: 01 - 05 - 5072 商品番号

滴応車種 : A p e

フレーム番号: AC16-1000001~

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。

・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

# ―!使用燃料についてのご注意!―

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリ ンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付 け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて

### -! スパークプラグについてのご注意!-

スパークプラグは必ず、キットのもの(CR8HSA)と交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下

## -!スプロケットについてのご注意!

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に 悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。キット内のドリブンスプロケットを取り付け、スプロケット のハイギアー化を行って下さい。

# ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道 を走行される場合は、小型 2 輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付 2 種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って 下さい。

このキットを取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このキットは、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に 作業を行うことをお勧めします。

取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サー ビスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信 用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

さらなるパワーアップには当社製マフラーをお勧めします。

TRエキゾーストマフラー: 04 - 02 - 253

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。 液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路をふさぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。 この製品を取り付けるには、別途、L.クランクケースカバーガスケット(ホンダ品番 11394-KN4-750)と、スプリットピン (ホンダ品番 94201-20150)が必要です。別途お買い求め下さい。

# 

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。 (火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。 (部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。 (ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。) ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。 (ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。 (部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

# ▲ 警告 | 下記事柄を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。 (一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。 (事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。 (作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
  - (不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。 (そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換さ せて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費 用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。

-1-

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

### ネジについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

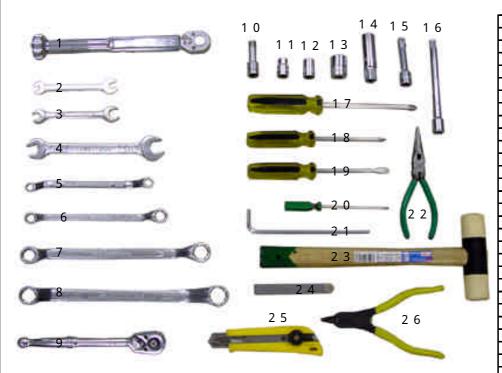
ネジをゆるめるということは、締まっている状態から 3 ~ 4 回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。

ネジを締めるということは、ネジをゆるまないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない ゆるまない数値で表したのが規定トルクです。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・ゆるまない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、ゆるむのかは経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

# ~ 取り付けに使用する工具等~



1	トルクレンチ
2	スパナレンチ 8 - 10 mm
3	スパナレンチ 10-12mm
4	スパナレンチ 14-17mm
5	メガネレンチ 8-9mm
6	メガネレンチ 10-12mm
7	メガネレンチ 14-17mm
8	メガネレンチ 17-19mm
9	ラチェットレンチ
1 0	ディープソケット 8mm
1 1	ソケット 10mm
1 2	ソケット 12mm
1 3	ソケット 17mm
1 4	プラグソケット 16mm
1 5	エクステンションバー小
1 6	エクステンションバー中
1 7	プラスドライバー大
1 8	プラスドライバー中
1 9	マイナスドライバー中
2 0	細軸マイナスドライバー
2 1	六角棒レンチ 5 mm
2 2	ラジオペンチ
2 3	プラスティックハンマー
2 4	シックネスゲージ
2 5	カッターナイフまたはスクレーパー
2 6	スナップリングプライヤ軸用(適合径 50)
	チェーンカッター
	レーシングスタンド
	針金等
	ウエス
	エンジンオイル

# ~商品内容~



番号	名称	個数
1	ピストン	1
2	シリンダー	1
3	ピストンピン	1
4	ピストンリングセット	1
5	ピストンピンサークリップ	2
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	エキゾーストパイプガスケット	1
9	カムシャフト	1
1 0	PC18キャプレターASSY	1
1 1	インテイクマニホールド	1
1 2	インシュレーター	1
1 3	インレットパイプガスケット	1
1 4	キャブレターガスケット	1
1 5	ソケットキャップスクリュー 6×15	2
1 6	フランジボルト 6×20	2
1 7	スロットルケーブル 810mm	1
1 8	バンド	1
1 9	コネクティングチューブスペーサー	1
2 0	チューブコネクター	1
2 1	スパークプラグ CR8HSA	1
2 2	ドリブンスプロケット 35丁	1
2 3	メインジェット #95	1
2 4	原付 2 種マークセット	1

-2- May/21/ 03

# ~取り付け要領~

#### フューエルコックをOFFにします。



サイドスタンドを取り外す必要がありますの で、レーシングスタンド等を用いて車両を確 実に支えて下さい。

作業は必ず冷間時 (エンジンおよびマフラー が冷えている時)に行って下さい。

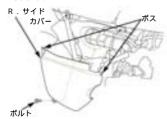
各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り 除いてきれいにしながら取り外していくよう にして下さい。

取り外したボルトやナットは無くさないよう に、どの場所に使用するのかわかるように保 管して下さい。

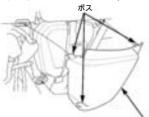
## エンジンの取り外し サイドカバーの取り外し

右サイドカバーのボルトを取り外します。 ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカ バーが外れます。

使用工具 プラスドライバー大



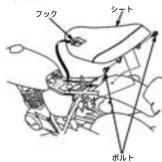
左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから 外すと、サイドカバーが外れます。



L.サイドカバー

# シートとタンクの取り外し

2本のボルトを取り外します。シートを後方 に引いて外します。 使用工具 メガネレンチ 10-12 mm



チューブクリップをずらし、フューエル





ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引 いて取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm



キャブレターの取り外し

キャブレターのトップカバーを外し、スロット ルバルブをキャブレターから抜き取ります。



コンプレッションスプリングを圧縮してス ロットルケーブルをスロットルバルブから 取り外します。





スロットルケーブルからトップカバーを抜き 取ります。



コネクティングチューブバンドのスクリュー をゆるめます。

使用工具 プラスドライバー中



ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外しま

使用工具 メガネレンチ 8 - 9 mm



フューエルチューブを取り外します。



エキゾーストマフラーの取り 外し

シリンダーヘッド側のナット2個を取り外し ます.

使用工具 スパナレンチ 10-12 mm



マウントボルトとワッシャを取り外し、エキ ゾーストマフラーを取り外します。 使用工具 メガネレンチ 10-12 m



スパークプラグの取り外し

プラグキャップを引っ張り、取り外します。 必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



- 3 -

スパークプラグを取り外します。 使用工具 プラグレンチ 16 mm ラチェットレンチ



### 接続を外す

ワイヤーバンドを外し、サイドスタンドス イッチカプラ(緑)ACジェネレーターカプ ラ(白) エキサイタコイルコネクターの 接続を外します。





ブリーザーホースの接続を外します。



クラッチケーブルガイドのナットをゆるめ、 リフターレバーからクラッチケーブルの接続

使用工具 スパナレンチ 10-12 mm スパナレンチ 12-14 mm





ケーブルガイドからクラッチケーブルを外し ます。



May/21/ 03

## ドライブスプロケットの取り **|** 外し

L . クランクケースカバーのポルト 5 本を外 し、L . クランクケースカバーを取り外しま す

使用工具 ディープソケット 8 mm ラチェットレンチ



ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、 スクレーパーやカッターナイフ等で取り除い て下さい。

スペーサーを取り外しておきます。



ドライブスプロケットの2本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。

使用工具 ソケット 10 mm エクステンションパー 小 ラチェットレンチ





L . ステップの取り外し サイドスタンドスイッチコードをフレームか ら取り外します。



ボルト 2 本を取り外し、L.ステップを取り 外します。

使用工具 メガネレンチ 14-17 mm



エンジンの取り外し

エンジン下部にジャキや適当な台等を置き、 エンジンを支えます。



フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10-12mm ソケット 12mm ラチェットレンチ



リアエンジンマウントの上側のナットを取り 外します。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm ソケット 12 mm エクステンションバー 中 ラチェットレンチ



下側のナットを取り外します。 使用工具 メガネレンチ 10-12mm ソケット 12mm エクステンションパー 小 ラチェットレンチ



まず、上側のボルトを抜き取り、カラーとク ラッチケーブルガイドを取り外します。





下側のポルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



シリンダーヘッド、シリン | ダー、ピストンの取り外し |

シリンダーヘッドの取り外し

シリンダーヘッドカバーボルト 2 本を外し、 シリンダーヘッドカバーとガスケットを取 り外します。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm





フライホイールを固定し、カムスプロケット の六角ボルト2本をゆるめておきます。 使用工具 メガネレンチ 10-12mm ソケット 17mm



ロックボルトとセットブレートを取り外し、 アジャスターを取り外します。 使用工具 メガネレンチ 10-12 mm ラジオペンチ





カムスプロケットの六角ボルト2本を取り外 します。



カムスプロケットをカムシャフトから外し、 カムチェーンから外します。



カムチェーンをクランクケース内に落とさな いように針金等で吊っておきます。



シリンダーヘッドマウントボルトを取り外し ます。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm



- 4 - May/21/ 03

カムシャフトホルダーナット 4 個を対角に数 回に分けてゆるめてワッシャ 4 個、カムシャ フトホルダー、カムシャフト、ノックピンを 取り外します。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm











シリンダーヘッドを取り外します。



ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面 のガスケットカスをスクレーパーやカッター ナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

カムチェーンガイドを取り外し、シリンダを 抜き取ります。(かたい時はプラスチックハン マーでシリンダーを軽くたたき、取り外しま す。)





ノックピン 2 個は、再使用するので取り外しておきます。



ロックナットとアジャストボルトをシリン ダーから取り外します。 使用工具 メガネレンチ 10-12 mm ドライバーマイナス 小





スプリングを外し、カムチェーンテンショ ナーをシリンダーから取り外します。





クランクケースのシリンダーホールとカム チェーンホールにゴミや部品が入らないよう にウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

ビストンピンサークリップの片側を取り外し ます。

ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。



サークリップを取り外した方へドライバー等 でピストンピンを押して外します。



ピストンが外れます。



### 取り付け面をきれいにする

ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。 取り付け面 にキズを付けないように注意して下さい。

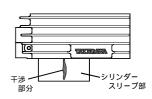


ウエスできれいに拭き取ります。



### クランクケースの修正

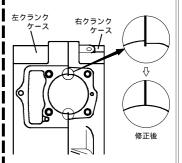
シリンダーをクランクケースに取り付ける際、 左右クランクケースのズレ等により、シリン ダースリーブ部とクランクケーススリーブ ホール部が干渉する場合があります。干渉し た状態で使用するとスリーブが変形し、エン ジントラブルの原因となりますので必ず点検、 修正して下さい。



クランクケース内に削り粉が入らないように しっかりとウエスを詰めます。

左右クランクケースのズレの出っ張っている 部分を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さ にします。

削り終わったら削り粉がクランクケース内に 入らないように慎重にウエスを取り除きます。



きれいなウエスをスリープホールに詰めてお きます。

キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

-5- May/21/ 03

# S - ステージキットの取り **【** 付け **【**

### ピストンの取り付け

ビストンピン穴の片側に付属のビストンピン サークリップを取り付けます。

ビストンピンサークリップの合い口は切り欠 き部を避けて取り付けて下さい。

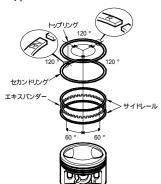
ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

使用工具 細軸ドライバーマイナス



図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



オイルリングエキスパンダーを入れます。



下オイルリングサイドレールを入れます。



上オイルリングサイドレールを入れます。



"RN"の文字を上にして、セカンドリング を入れます。



" R "の文字を上にして、トップリングを入 れます。



ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布しま す。



コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイ ルを塗布します。



ビストンビンにエンジンオイルを塗布し、 ビストンの上面の矢印が、前(排気側)を向く ようにビストンを取り付けます。





付属のピストンピンサークリップを取り付け ます。

ピストンピンサークリップの合い口は切り欠 き部を避けて取り付けて下さい。

ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

押し込み中にピストンピンサークリップが外 れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取 り付けて下さい。

使用工具 細軸マイナスドライバー



シリンダーの取り付け カムチェーンテンショナーをキットのシリン ダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。





カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。 アジャストボルトで固定し、ロックナットを 締め付けます。

使用工具 ドライバーマイナス 小 メガネレンチ 10-12 mm





詰めていたウエスを取り外します。

-6-



クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。





ノックピン 2 個とシリンダーガスケットを クランクケースに取り付けます。



シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布 し、指で均等に塗り広げます。



ピストンの全周面と、ピストンリングにエン ジンオイルを塗布します。



シリンダーを入れていきます。



May/21/ 03

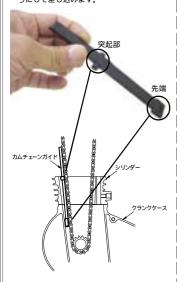
シリンダーにピストンリングの合い口がずれ ないように指で少しずつはめていきます。



ピストンがシリンダーにはまったら、カム チェーンをシリンダーに通してシリンダーを クランクケースにはめ込みます。



カムチェーンガイドの先端をクランクケース の溝に、突起部をシリンダーの溝に合わすよ うにして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシ ンナー等で脱脂します。





ノックピン 2 個とシリンダーヘッドガスケッ トをシリンダーに取り付けます。



カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シ リンダーヘッドを取り付けます。



アジャスターをカムチェーンテンショナーと シリンダーヘッドに通して取り付けます。



ロックボルトでセットプレートを仮止めしま す。



シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めし ておきます。



カムシャフトとカムスプロ ケットの取り付け

キットのカムシャフトのジャーナル面とカム 面にエンジンオイルを塗布し、シリンダー ヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム 山は下側に向けておきます。



ノックピン2個を取り付けます。



カムシャフトホルダーを取り付けます。



ワッシャ4個を取り付けます。



ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め 使用工具 ソケット 12 mm トルクレンチ 規定トルク 20N·m(2.0kgf·m)



仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボ ルトを本締めします。 使用工具 ソケット 10 mm エクステンションバー 小 トルクレンチ 規定トルク 12 N·m (1.2 kg f·m)



フライホイールの"T"マークがクランク "マークに合っているか確認し ケースの" **≢** ₹.



カムスプロケットの"O"マークが真上を向く ようにカムチェーンを取り付けます。カムスプ ロケットをカムシャフトにはめ込みます。



フライホイールを少し回して、カムスプロ ケットを回し、六角ボルトを取り付けやすく

カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに 合わせて六角ボルト2本を手で締め込み、仮り 止めします。このとき、ノックボルト(黒色ボ ルト)をインテーク側に取り付けて下さい。





フライホイールを固定し、カムスプロケット の六角ボルト2本を締め付けます。 使用工具 ソケット 10 mm トルクレンチ メガネレンチ 14-17mm 規定トルク 12 N·m (1.2 kgf·m)



#### カムチェーンの調整

カムチェーンは張りすぎてもたるみがあって もエンジンの調子を損ないます。確実に作業 を行って下さい。

フライホイールを反時計方向にまわし、カム シャフトの両方のカム山が上になる位置にし ます.

カム山を上にします。



フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの"o"マークを張る方向やゆるむ方向にまわしてみます。

使用工具 ドライバーマイナス 小





ガタが無く、フライホイールが重くならない ところでロックボルトを締め込み、アジャス ターを固定します。

使用工具 ソケット 10 mm トルクレンチ 規定トルク 10 N·m (1.0 kgf·m)



アジャスターの調整だけではガタが無くなら ない場合、シリンダーのアジャストボルトで お調整を行います。

アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットをゆるめ、ア ジャストポルトを少しだけゆるめます。





マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

使用工具 ドライバーマイナス 小 ソケット 12 mm トルクレンチ

規定トルク 12N·m(1.2kgf·m)

再びアジャスターをまわして、ガタが無く、 フライホイールが重くならないところを探し、 ロックボルトでアジャスターを固定します。

### バルブ隙間の調整

フライホイールを反時計方向にまわして、カムスプロケットの"O"マークが真上を向き、フライホイールの"T"マークがクランクケースの""マークに合う位置で止めます。アジャストスクリューとパルブ端面の間(パルブ隙間)に0.1mmのシックネスゲージを差し込みます。

使用工具 シックネスゲージ



引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにア ジャストスクリューを合わせ、ナットを締め 付けます。

使用工具 シックネスゲージ メガネレンチ 8-9 mm ラジオペンチ 規定トルク 10 N・m (1.0 kg f・m)



ナットを締め付け後、0.1mmのシックネスゲージを再度差し込み、パルブ隙間を確認します。

シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエ ンジンオイルをいっぱいまで入れます。



シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリ ンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダー ヘッドに取り付けます。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm 規定トルク 12 N·m (1.2 kg f·m)



### エンジンの取り付け

### エンジンの取り付け

エンジン下部にジャキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。

リアエンジンマウントの下側にボルトを左側 から差し込みます。



カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを 左側から差し込みます。





ナット2個を仮止めします。





フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮 止めします。



-8-

ドライブチェーンを取り付けたドライブスブロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。 差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



ドライブチェーンに適度なたるみを持たせた まま、仮り止めしたリアエンジンマウントの ナット2個と、フロントエンジンハンガーブ レートのナット4個を本締めします。

使用工具 メガネレンチ 10-12 mm ソケット 12 mm エクステンションパー 小 エクステンションパー 中 ラチェットレンチ

### 規定トルク

リアエンジンマウントナット : 4 4 N·m ( 4 . 5 kg f·m ) フロントエンジンハンガーブレートナット : 2 6 N·m ( 2 . 7 kg f·m ) フィキシングブレートをカウンターシャフト に差し、ドライブスプロケットのポルト穴に 合わせて、ポルト 2 本を取り付けます。 使用工具 メガネレンチ 1 0 - 1 2 mm



### L.ステップの取り付け

L.ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。

使用工具 メガネレンチ 14-17 mm 規定トルク 26 N·m (2.7 kgf·m)



サイドスタンドスイッチコードをフレームの クランプに取り付けます。



May/21/ D

### 接続

サイドスタンドスイッチカプラ (緑) AC ジェネレーターカプラ(白) エキサイタコイ ルコネクターを接続し、ワイヤーバンドで コードをフレームに固定します。



リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けて ナットを締め付けます。 使用工具 スパナレンチ 10-12 mm



スパークプラグの取り付け

キット内のスパークプラグを、まず手で締め 込みます。

プラグレンチを用いて締め付けます。 使用工具 プラグレンチ 1.6 mm ラチェットレンチ 規定トルク1.4 N・m(1.4 kg f・m)



プラグキャップを取り付けます。



# エキゾーストマフラーの取り **|**付け

シリンダーヘッド側のナット 2 個を仮止め します。

使用工具 スパナレンチ 10-12mm



マウントボルトとワッシャを仮止めします。 使用工具 メガネレンチ 10-12mm メガネレンチ 14-17mm



仮止めした3ヶ所を本締めします。 規定トルク ナット2個

: 1 2 N·m( 1 . 2 kgf·m) マウントポルト : 1 3 N·m( 1 . 3 kgf·m)

# ノーマルスロットルケーブル の取り外し

ノーマルスロットルケーブルのワイヤリング を外します。

六角ナットをゆるめます。 使用工具 スパナレンチ 12-14mm



スクリュー 2 本を外し、アッパースロットル ハウジングを取り外します。 使用工具 プラスドライバー中



スロットルパイプからスロットルケーブルの インナーの接続を外します。



ロアスロットルハウジングからスロットル ケーブルを取り外します。



スロットルケーブルの取り付け

キットのスロットルケーブルをロアスロット ルハウジングに取り付けます。



スロットルケーブルをスロットロパイプに 接続します。



アッパースロットルハウジングを 2 本のスク リューで取り付けます。 使用工具 プラスドライバー中



このとき、前側のスクリューを先に締め付け、後側のスクリューを後に締め付けます。

ノーマルハンドルの場合、スロットルハウ ジングの分割部をハンドルの"O"マーク に合わせて下さい。



スロットルケーブルのワイヤリングをしま す。

ッ。 六角ナットを締め付けます。 使用工具 スパナレンチ 12-14mm



メインジェットの交換

2本のスクリューを外してフロートチャン バーを取り外します。

使用工具 プラスドライバー中



フロートピンは外れやすいので注意して下 さい。



メインジェットをジェットホルダーから取り 外します。 使用工具

マイナスドライバー小



-9- May/21/ 03

キットのメインジェットを取り付けます。 使用工具 マイナスドライバー小



フロートチャンバーを取り付け、2本のスク リューでキャブレターに取り付けます。



コネクティングチューブスペーサーをPC18

バンドをインシュレーターに付け、インテイク マニホールドに差し込みます。バンドを締め付 けます。

使用工具

キャブレターに取り付けます。



スロットルバルブの切り欠き部をスロットル

ストップスクリューに合わせてキャブレターに

差し込みます。

キャブレターのくぼみにトップカバーの凸を



合わせて取り付けます。

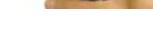


使用工具 スパナレンチ 8 10 mm

スロットルをスナップさせ、スロットルバルブ

ハンドルを左右いっぱい切ってもスロットルに

アジャスターにブーツをかぶせます。



キャブレターの取り付け インテイクマニホールドとシリンダーヘッド

にインレットパイプガスケットをはさみ、フ ランジボルト6×20 2本で取り付けます。 使用工具 メガネレンチ 8-9mm 規定トルク 10N·m (1.0kgf·m)

インレットパイプガスケット



コネクティングチュープをPC18キャブレ

けます。

ターに差し込み、バンドのスクリューを締め付

使用工具 プラスドライバー中 PC18キャプレターのトップカバーを外し、

スプリング、スロットルバルブを取り出しま





スロットルケーブルのブーツをめくり、アジャ スターを出します。



六角ナットを保持し、アジャスターをゆるめ ます

使用工具 スパナレンチ 8 - 10 mm スパナレンチ



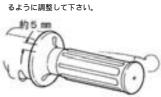
遊びが少なくなる

六角ナット

アジャスターを回すと遊びが調節出来ます。

遊びが多くなる

スロットルケーブル



アジャスターを固定し、六角ナットを締め付け

スパナレンチ 10 12mm

の動きを確認して下さい。

遊びがあることを確認します。



スロットルケーブルにトップカバーを取り付 け、スプリングを入れてインナーケーブルに スロットルバルブを取り付けます。



スロットルの遊びの調整

インテークダクトの取り外し

エアクリーナーケース上部のインテークダクト をはがして取り外します。



チューブコネクターの取り付け クランクケースからストレージタンクにつなが



インシュレーターとPC18キャブレターに

キャプレターガスケットをはさみ、ソケット

使用工具 六角棒レンチ 5 mm 規定トルク 9 N·m (0.9 kgf·m)

けます。

キャップスクリュー 6 × 1 5 2 本で取り付

フューエルチューブをPC18キャブレター に取り付けます







May/21/ 03 -10ホースを真中あたりでカットします。



ホースにチュープコネクターをしっかりと取り 付けます。



クランクケース、ストレージタンクに取り付けます。 ストレージタンクのポルトをゆるめます。 使用工具 ラチェットレンチ



キャブレターのチョークレバーを引いて全閉に し、ストレージタンクチューブとチョークレ バーが干渉しない位置にストレージタンクを 動かし、ポルトを締め付けます。 使用工具 ラチェットレンチ ソケット 10mm



シートとタンクの取り付け

フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。 使用工具 メガネレンチ 10-12mm 規定トルク 26Nm(2.7kgf·m)



シート裏面の前部のフックをフレームに差し込 み、2本のボルトでフレームに取り付けます。 使用工具 メガネレンチ 10-12mm 規定トルク 26N・m(2.7kgf・m)

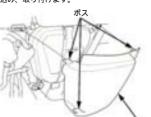


フューエルコックにフューエルチュープを接続 し、チューブクリップで固定します。



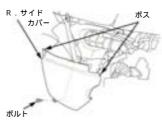
サイドカバーの取り付け

左サイドカバーのボス3ヶ所をフレームに差し 込み、取り付けます。



L.サイドカバー

右サイドカバーのボス2ヶ所をフレームに差し 込み、ボルトを取り付けます。 使用工具 プラスドライバー大



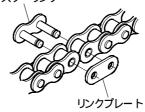
# ドリブンスプロケットの取 I り付けとチェーンの調整 I

作業の際は必ずエンジンを停止すること ドライプチェーンの取り外し クリップを取り外します。



リンクプレートとマスターリンクを取り外し、 ドライブチェーンを取り外します。

マスターリンク



ブレーキストッパーアームの 接続を外す

スプリットピンを取り外します。 使用工具 ラジオペンチ



ナットを取り外し、ワッシャ、シートラバー、ストッパーアームボルトを取り外します。 使用工具 メガネレンチ 10 12 mm



# ブレーキアームの接続を外す

アジャストナットを外し、ブレーキロッド、 スプリング、ジョイントを取り外します。





# ホイールの取り外し

アクスルシャフトを保持し、アクスルナット、ワッシャを取り外します。

使用工具 メガネレンチ 14-17mm メガネレンチ 17 19mm









アクスルシャフトを抜き取るとホイールとR. サイドカラーが外れます。





ホイールからブレーキパネルを取り外します。



L.サイドカラーを取り外します。



ノーマルドリブンスプロケットの取り外し

スナップリングを取り外し、ワッシャとノーマルドリブンスプロケットを取り外します。 使用工具 スナップリングプライヤ軸用





# ドリブンスプロケットの取り **【** 付け

キット内のドリブンスプロケットをホイールに 取り付け、ワッシャとスナップリングを取り付けます。

使用工具 スナップリングプライヤ軸用





**ホイールの取り付け** ホイールに L . サイドカラーを取り付けます。



ブレーキパネルをホイールに取り付けます。



アクスルシャフトにワッシャが通ってあること を確認。



スイングアームの片側とR.サイドカラーに アクスルシャフトを通しておきます。



ホイールとスイングアームの位置を合わせ、 アクスルシャフトを差し込みます。



ワッシャとアクスルナットを仮止めします。



ブレーキストッパアームの <sup>按结</sup>

ストッパアームボルトをブレーキパネルの六角 穴に確実に取り付け、アームを取り付けます。



ストッパーアームボルト



シートラバー、ワッシャの順に取り付け、ナットを取り付けます。 使用工具 メガネレンチ 10 12 mm

使用工具 メガネレンチ 10 12 mm 規定トルク 22 N・m (2.2 kgf・m)



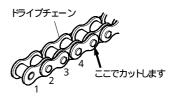
新品のスプリットピン 2 . 0 × 1 5 を取り付けます。



### ドライブチェーンのカット

ノーマルのスプロケットからキット内のドリプンスプロケットに変更すると調整だけではドライブチェーンのたるみを無くすことは出来ません。チェーンカッター等を使用し、チェーンを短くする必要があります。

ノーマルチェーンからは4リンクカットして下さい。

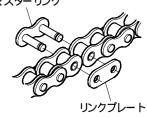


## ドライブチェーンの取り付け

ドライブチェーンをドライブスプロケット、 ドリブンスプロケットに取り付けます。

マスターリンクを内側から取り付けてドライブ チェーンを接続し、リンクプレートを取り付け ます。





クリップを取り付けます。 この時、クリップの合い口は進行方向に対し て逆に向けて下さい。



-12- May/21/ 03

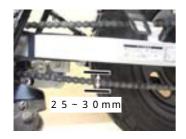
### ドライブチェーンの遊びの調整

左右のアジャストナットを回し、左右の調節目盛りが均等に なるよう調節します。



調整目盛り ロックナット

乗車状態でスプロケット間の中央あたりの遊びを確認します。 遊び: 25~30mm



アジャストナットを保持し、ロックナットを締め付けます。 使用工具 スパナレンチ 10 12 mm スパナレンチ 14-17 mm



アクスルシャフトを保持し、アクスルナットを締め付けます。 使用工具 メガネレンチ 14 17mm メガネレンチ 17 19mm 規定トルク 62 N·m (6.3 kgf·m)





### ブレーキアームの接続

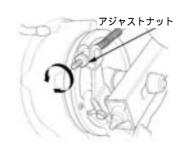
ジョイントをブレーキアームに取り付け、スプリングを取り付けたブレーキロッドを差し込み、アジャストナットを取り付けます。





### ブレーキペダルの遊びの調整

アジャストナットを回すと遊びが調節出来ます。



ブレーキペダル先端で25mm程度の遊びになるように調節します。

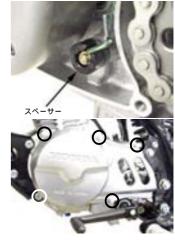


### L.クランクケースカバーの取り付け

L. クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面を シンナー等で脱脂します。

スペーサーを取り付け、L.クランクケースカバーと新品の ガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。 使用工具 ディープソケット 8mm ラチェットレンチ

規定トルク 12 N·m(1.2 kg f·m)



### 走行前の注意

### お願い

このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

## 使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと 入れ替えて下さい。

### その他

## オイルクーラー

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット(09-07-221:シルバーコア、09-07-208:ソリッド)の装着をお勧めします。

### 温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。 当社製の下記メーターが使用出来ます。

- ・ミディアム L C D タコメーター & 温度計 : 09-05-0141(150 表示)
- ・デジタル温度計
  - :07-04-053 (99%表示)



〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号 TEL 0721 25 1357

TEL 0721 25 1357 FAX 0721 25 1357 サインル 0721 25 8857 URL http://www.takegawa.co.jp

-13- May/21/ 03

# キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul> <li>・爆発音が重い感じで断続する。</li> <li>・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。</li> <li>・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。</li> <li>・クリーナーを外すと調子が良くなる。</li> <li>・排気ガスが濃い。(黒い)</li> <li>・プラグが黒くくすぶる。</li> </ul>	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

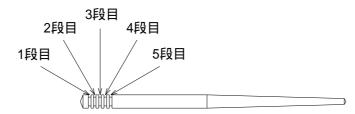
キャプレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。 エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

### ジェットニードル (スロットル開度1/4 3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが重く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、 E リングを入れる溝の段数で調整出来ます。 E リング位置が 1 段目から 5 段目に下がるにつれ混合気は濃くなります。



### メインジェット (スロットル開度3/4 4/4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。 仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

# パイロットジェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量3.0回転以上の場合は、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。

パイロットジェットはアイドリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。

- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気が濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

### エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。 アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

### 気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 光** パ <sup>〒584-0069</sup> 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号 株式会社 **SPECIAL PARTS 光** パ <sup>TEL 0721-25-1357</sup> FAX 0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857